



Noritake

第 141 期
中間報告書

2021年4月1日 ➡ 2021年9月30日

株式会社
ノリタケカンパニーリミテド
証券コード：5331



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より当社をご支援いただきまして、心より厚く御礼申し上げます。

ここにノリタケグループの第141期第2四半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の経営成績と今後の取り組みについてご報告申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 **加藤 博**

第141期第2四半期の連結業績のご報告

当第2四半期は、国内では、新型コロナウイルスワクチン接種の進展により、経済活動正常化の兆しがみられたことに加え、設備投資や輸出に持ち直しの動きが続いたことから、景気は回復基調となりました。

海外では、米国は個人消費や設備投資が増加したことで景気は上向き、中国は政府による投資抑制策などにより一時的に経済活動が鈍化したものの、持ち直しの動きが見られました。欧州の景気も持ち直し、世界経済全体としても回復基調にありました。

このような経済情勢の下、当社は新型コロナウイルス感染症の予防に最大限の配慮をしながら積極的な事業活動を継続し、大幅に業績を回復することができました。

その結果、当第2四半期の連結売上高は614億59百万円、連結営業利益は41億94百万円、連結経常利益は56億86百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億6百万円となりました。

中間配当につきましては、今後の業績の見通しや財務状況を総合的に勘案した結果、1株当たり70円とすることといたしました。株主の皆様には、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

第141期(2022年3月期)連結業績予想

売上高	128,000	百万円
営業利益	9,000	百万円
経常利益	11,500	百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	8,500	百万円

中期経営計画への取り組み

当社は、本年を最終年度とする第11次中期経営計画の以下4つの基本戦略に、昨年「選択と集中の加速」を加えて取り組み、成長性と収益性を向上させるための経営体制・事業体制の整備を進めてまいりました。

1. 競争力のある新商品・新技術開発の促進

自動車の電動化や高速移動体通信用の電子部品の需要拡大に対応すべく、工業機材事業、セラミック・マテリアル事業、エンジニアリング事業において、新商品の開発と新用途開拓に取り組み、市場への投入も開始しました。

2. 海外生産拠点の増強と海外市場開拓の推進

工業機材事業において、中国蘇州工場で大型砥石を増産するための新ラインが稼働しました。また、タイ工場の製造ラインの増強も完了し、生産を開始しました。

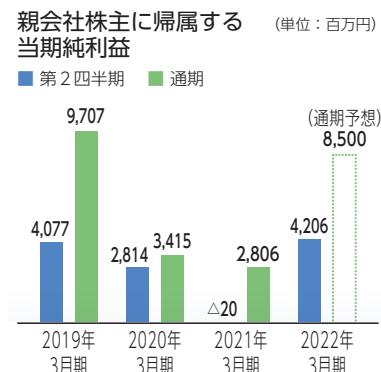
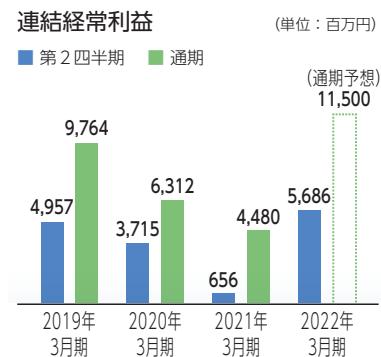
3. 国内販売体制、製造体制の再整備

工業機材事業において、営業・物流拠点の統合・再編を行ないました。セラミック・マテリアル事業においては、積層セラミックコンデンサ等の電子部品材料の中長期的な需要に対応するため、生産能力増強に取り組んでいます。

4. ものづくり強化活動、環境活動、安全衛生活動、働き方改革と事業活動の一体化

全社横断組織を設け、それぞれの活動に主体的に取り組むとともに、定期的な活動報告会などを通して情報を共有しています。Web会議等が定着し、コロナ禍においても、これら諸活動を推進しました。

株主の皆様におかれましては、こうした当社の取り組みについてご理解をいただき、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年3月期の期首から適用しており、連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

工業機材事業

主要製品

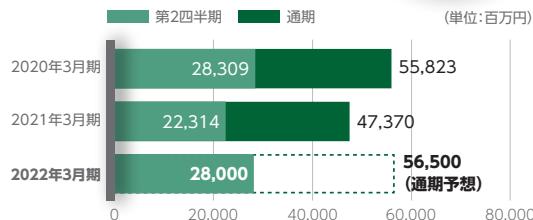
研削砥石、ダイヤモンド工具、CBN工具、研磨布紙、ドレッサ、研削・研磨関連商品(研削油剤等)

売上高構成比率

45.6%

国内では、主要顧客である鉄鋼、ベアリング業界において、顧客の生産が回復し、電子部品関連も好調に推移したことから、売上は増加しました。海外では、北米は市況が回復基調であるものの、自動車業界が低調で、売上は前年並みに留まりました。中国及び東南アジアでは、市場の回復を受け売上げが増加し、海外全体では増加しました。オフセット砥石などの汎用砥石は、国内外共に売上げが増加しました。

その結果、工業機材事業の売上高は、280億0百万円(前年同期比25.5%増加)、営業利益は12億53百万円(前年同期は15億92百万円の営業損失)となりました。



重研削用大型3Z砥石

セラミック・マテリアル事業

主要製品

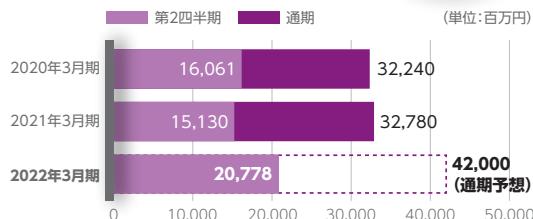
電子ペースト、厚膜回路基板、セラミックコア、触媒担体、転写紙、石膏、セラミック原料、電子部品材料、蛍光表示管及び同モジュール等

売上高構成比率

33.8%

電子ペーストは、高速移動体通信用及びパソコン用電子部品の需要が堅調に推移したことにより、売上は大きく増加しました。電子部品材料は、通信分野及び自動車向けが堅調に推移し、売上は大きく増加しました。厚膜回路基板は、顧客からの需要減の影響を受け、売上は減少しました。石膏は、アジア・アフリカ向けが好調で、売上は増加しました。セラミックコアは、顧客の生産調整の影響を受け大きく減少しました。触媒担体は前年並みに留まりました。セラミック原料は耐熱ガラス用が、蛍光表示管はアジア向けが増加し、いずれも売上は増加しました。

その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、207億78百万円(前年同期比37.3%増加)、営業利益は28億84百万円(前年同期比184.5%増加)となりました。



電極用ペースト

エンジニアリング事業

主要製品

高効率焼成炉ローラーハースキルン、遠赤外線乾燥炉、混合攪拌装置(スタティックミキサー等)、クーラント濾過装置、超硬丸鋸切断機等

売上高構成比率

16.6%

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池及び電子部品分野が堅調に推移し、売上げが増加しました。混合攪拌装置は、化学・食品業界向けで受注は回復基調であるものの、前年の設備投資抑制が影響し、売上げは減少しました。濾過装置は、ベアリング向けの受注が回復し、売上げは、国内向けは低調でしたが、海外向けは増加しました。超硬丸鋸切断機は、主に海外の鋼材加工用が好調で、売上げは大きく増加しました。

その結果、エンジニアリング事業の売上高は、101億85百万円(前年同期比1.3%減少)、営業利益は7億75百万円(前年同期比19.9%減少)となりました。



水素燃焼式リチウムイオン電池用連続焼成炉

食器事業

主要製品

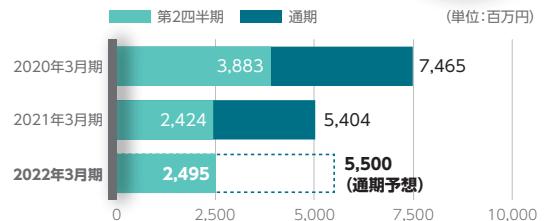
陶磁器食器、その他食器関連商品、装飾・美術品等

売上高構成比率

4.0%

国内市場は、オンライン販売が増加したものの、エアライン、百貨店、ホテル・レストラン向けの販売がいずれも低迷し、売上げは減少しました。海外市場は、米国では、主要顧客向けの販売が回復基調にあり、大型専門店の在庫調整の影響を受けたものの、売上げは増加しました。アジア地域では、中国・インド向けの販売が伸長し、売上げは増加しました。その他の国・地域でも、オンライン販売が堅調で、海外全体では、売上げは増加しました。

その結果、食器事業の売上高は、24億95百万円(前年同期比2.9%増加)、7億18百万円の営業損失となりました。



YOSHINO(ヨシノ)

■ 第2四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	第141期 (第2四半期末) 2021年9月30日現在	第140期 (前期末) 2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	69,283	65,058
固定資産	88,892	89,847
有形固定資産	45,152	44,930
無形固定資産	1,476	1,424
投資その他の資産	42,263	43,492
資産合計	158,176	154,905
負債の部		
流動負債	33,374	29,816
固定負債	10,367	11,101
負債合計	43,742	40,917
純資産の部		
株主資本	101,121	97,423
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,502	18,560
利益剰余金	68,146	64,388
自己株式	△1,160	△1,158
その他の包括利益累計額	12,648	13,502
その他有価証券評価差額金	14,431	15,946
為替換算調整勘定	△3,010	△3,788
退職給付に係る調整累計額	1,227	1,344
非支配株主持分	663	3,061
純資産合計	114,433	113,988
負債純資産合計	158,176	154,905

■ 第2四半期連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	第141期 (第2四半期) 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	第140期 (第2四半期) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	61,459	50,189
売上原価	44,633	38,520
売上総利益	16,825	11,668
販売費及び一般管理費	12,630	11,929
営業利益又は営業損失(△)	4,194	△260
営業外収益	1,625	1,037
営業外費用	134	119
経常利益	5,686	656
特別利益	4	2
特別損失	513	77
税金等調整前四半期純利益	5,177	581
法人税、住民税及び事業税	1,140	460
法人税等調整額	△178	103
四半期純利益	4,215	18
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	38
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,206	△20

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	第141期 (第2四半期)	第140期 (第2四半期)
	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,445	2,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,158	△4,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,997	2,321
現金及び現金同等物に係る換算差額	235	△116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	525	161
現金及び現金同等物の期首残高	9,741	9,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,266	10,101

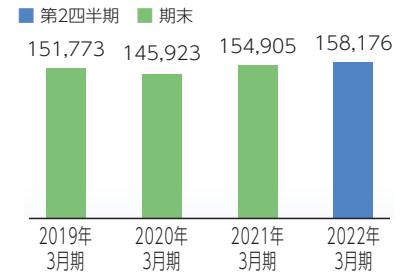
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当について(剰余金処分)

当第2四半期は、中間配当を1株当たり70円といたしました。
 期末配当につきましては、1株当たり70円を想定しております。

連結総資産

(単位：百万円)



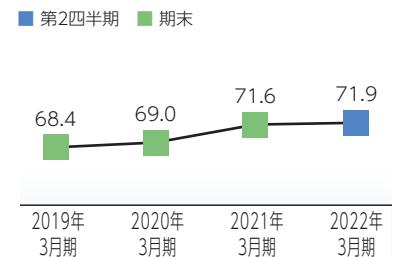
連結純資産

(単位：百万円)



連結自己資本比率

(単位：%)





地域に愛され20年



当社創立100周年の記念事業として、2001年(平成13年)10月5日、近代陶業発祥の地である本社敷地内に陶磁器に関する複合施設「ノリタケの森」をオープンし、市民の皆様から都会の憩いの場として親しまれ、また、国内外から幅広い世代の方に来園いただき、本年10月5日に開園20周年を迎えました。

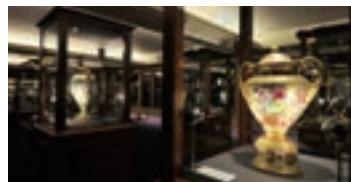
当社は、この「ノリタケの森」を通じて、産業観光の促進や環境への寄与、地域社会への貢献に取り組んでいます。

産業観光の促進

陶磁器の製造工程が見学できるクラフトセンターやノリタケミュージアム、当社の歴史や事業を紹介するウェルカムセンターを設置、名古屋市内の小学生の社会科見学を受け入れるなど、近代産業や中部のものづくり文化を伝え続けています。



クラフトセンター



ノリタケミュージアム



ウェルカムセンター

経済産業省認定「近代化産業遺産群」



赤レンガ建築(旧製土工場)
明治37年築



赤レンガ建築(旧陶磁器センター)
明治末期築 ※現ノリタケスクエア名古屋



6本煙突
昭和8年～15年築

環境への寄与

「ノリタケの森」には約22,000㎡もの緑地があり、園内には6,000本以上の樹木が植栽されています。都市の中に自然を創出するため、水辺などさまざまな要素を配置し、野鳥、昆虫など、野生の生き物が住みやすい環境を整えています。



2001年開園当時



2021年

地域社会への貢献

① 憩いの場の提供

名古屋市都心部にありながら、人々に安らぎと憩いを与える緑豊かな空間として広く市民の皆様に親しまれる場となっています。また、季節に合わせたイベントを開催し、四季折々を楽しんでいただいています。



社会・環境
貢献緑地

SEGES
「都市のオアシス」認定



② 文化芸術活動への貢献

陶芸、絵画、彫刻などのアートを身近に楽しんでいただく場として「ノリタケの森ギャラリー」を設け、作家の個展から市民の美術展まで、幅広い方々に作品発表の場を提供しています。



「市民緑地」認定



季節のイベント

③ 地域防災への貢献

大規模地震発生時の帰宅困難者の一時避難場所に指定されており、地域の安心の一端を担っています。



ノリタケの森ギャラリー

会社概要 / 株式の状況

(2021年9月30日現在)

会社概要

創立	1904年1月1日(合名会社)
設立	1917年7月20日
資本金	156億3,230万4,225円
本社	名古屋市西区則武新町三丁目1番36号
従業員数	1,973名(連結5,057名) (注)従業員数のうち、グループ会社への出向者は66名であります。
主な連結対象会社	日本レデボン株式会社 株式会社ノリタケコーテッドアブレーション 株式会社ゼンノリタケ 共立マテリアル株式会社 Noritake Co., Inc. Noritake Lanka Porcelain (Private) Limited (注)上記を含む連結対象会社23社、持分法適用会社4社

役員一覧

取締役

代表取締役会長	小倉 忠
代表取締役社長執行役員	加藤 博
取締役専務執行役員	東山 明
取締役執行役員	夫馬 裕子
社外取締役	友添 雅直
社外取締役	山本 良一

監査役

常勤監査役	左合 澄人
常勤監査役	吉田 和正
社外監査役	猿渡 辰彦
社外監査役	森崎 孝

執行役員

専務執行役員	志手 秀司
常務執行役員	永田 滉
常務執行役員	堀江 雅彦
常務執行役員	寄田 浩
常務執行役員	岡部 信
執行役員	前田 智朗
執行役員	鶴飼 直行
執行役員	村居 浩之
執行役員	中村 吉雅

執行役員待遇

執行役員待遇	市川 賢一
執行役員待遇	水口 宗成
執行役員待遇	近藤 朋治
執行役員待遇	加藤 真示

株式の状況

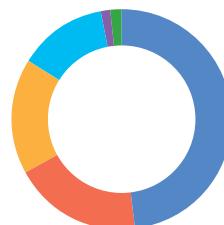
発行可能株式総数	39,750,000株
発行済株式の総数	14,842,849株
株主数	9,866名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,627	11.11
明治安田生命保険相互会社	1,291	8.81
第一生命保険株式会社	1,041	7.11
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	653	4.46
株式会社三菱UFJ銀行	569	3.89
T O T O 株式会社	520	3.56
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND	424	2.90
日本生命保険相互会社	384	2.62
ノリタケ取引先持株会	251	1.72
東京海上日動火災保険株式会社	218	1.49

(注) 当社は、自己株式を193,462株保有しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



金融機関	48.1%	(7,144千株)
個人・その他	19.1%	(2,830千株)
外国法人等	16.7%	(2,485千株)
その他の法人	13.3%	(1,967千株)
自己株式	1.3%	(193千株)
金融商品取引業者	1.5%	(221千株)

「ノリタケスクエア名古屋」リニューアルオープン

当社食器販売の旗艦店「ノリタケスクエア名古屋」は、この10月にリニューアルオープンしました。

「食卓から広がる心地よい暮らし」をコンセプトに、フルラインナップを展開、空間全体を使った季節のテーブルコーディネートやワークショップなどを通じて「心地よい暮らし」を提案しています。

また、併設するカフェでは、時季に合わせたお勧めの食器で料理を提供しておりますので、ぜひご利用ください。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。電子公告の掲載アドレスは次のとおりです。 https://www.noritake.co.jp/koukoku/
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日／中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元未満株式の 買取・買増手数料	無料
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けいただく必要がございます。詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

株式に関するお問い合わせ先

株式に関する各種お手続きにつきましては、株主様の株式の所有状況によって異なりますので、ご注意ください。

- 当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合
お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 当社株式を証券会社等の口座にお預けでない
(特別口座に記録された) 場合
三菱UFJ信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) にお問い合わせください。
<お問い合わせ先>
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

Noritake



YOSHINO

<https://tableware.noritake.co.jp/>